

第17回倉敷市民スポーツフェスティバル

2023新春マスカット周走大会 実施要項

- 1 主 管 倉敷市スポーツ振興協会陸上競技部（新春マスカット周走大会実行委員会）
- 2 日 時 令和5年1月9日（月・祝） 9：00～16：00
- 3 会 場 倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム及び周走コース（倉敷市中庄）
- 4 開催内容 ◎個人の部（16種目）

及び参加対象 高校一般男子 5000m 中学男子 5000m
高校一般女子 3000m 中学女子 3000m
小学校 1500m（男女別，学年別・・・12種目）

※個人の表彰は8位まで行います。

◎小学校クロスカントリーリレーの部

男女各3名ずつ，計6名でチームを組む。

距離1人1500mずつ。

- 5 参加料 1人700円（保険代込） 郵便振替により振込。

郵便振替口座 01380-1-83928 陸上学童部

感染症対策で，実参加人数分を当日受付に納入とするかもしれない。

- 6 申込方法 申込用紙は下記ホームページか郵送先に10月中旬以降に問い合わせること。

◇ メールでの申し込み アドレスが新しくなっています。ご注意ください。

ホームページアドレス(倉敷ジュニア陸上クラブ) <http://www.kct.ne.jp/~mizukun/>

申込先メールアドレス mizukun@mx9.kct.ne.jp

◇ 郵送の場合 〒701-0145 岡山市北区今保282-1

渡辺 謙治 宛 TEL 090-5268-9528

令和4年11月25日（金）必着厳守

- 7 競技規則及び競技方法

上記4を参照のこと。マスカットスタジアム内をスタートし，周回コースを走り，スタジアム内をゴールとする。

詳細は10月中旬以降，順次上記ホームページに掲載するので，必ず確認のこと。

【お問い合わせ先】 新春マスカット周走大会実行委員会

渡辺 謙治 TEL090-5268-9528 18時以降

第17回倉敷市民スポーツフェスティバル 陸上競技部 競技会 感染症拡大防止対策ガイドライン

実施日：令和5年1月9日 会場：倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム及び周走コース

3つの密（密閉・密集・密接）の徹底的な回避対策について

- (1) 感染者、濃厚接触者が出た場合の対応について
 - *該当団体（チーム）の参加禁止とする
- (2) 選手や控え選手、監督・役員に対する待機場所の指示と感染防止対策
 - *ソーシャルディスタンスを守り、運動中以外はマスクの使用を求める
- (3) 応援者（保護者等）や一般者に対する感染防止対策
 - *一般者の入場を禁止する
 - *密接を避け、大声での会話・応援等を禁止する旨を指導する
 - *応援者についても、各団体で人数および健康状態の把握を求め、異状のない者のみ参加を許可する。
- (4) 試合待機者の施設内での感染防止対策
 - *スタンドや屋外通路等、換気の良い場所で間隔を取って待機し、競技前の選手確認も屋外で行い、密集を避ける
- (5) 会議室、放送室、更衣室など室内での感染防止対策
 - *会議室や放送室が密にならないように注意し、換気や消毒などをこまめに行う
 - *更衣室も更衣のみの使用とし、長時間待機させない。
- (6) 会場（集合場所）までの移動手段での感染防止対策
 - *可能な限り公共交通機関の利用を避け、自家用車等の利用を勧める

その他の感染防止対策

- (7) 施設入場時の体調確認（検温等）について
 - *参加団体及び個人については、チェックシートにより、参加者（選手、指導者、団体関係者）全員の体調確認を行い、異状のなかったこと、参加人数及び代表連絡先を記入した参加同意書を提出させ、団体でまとめて入場させる。
- (8) 移動時や待機時のマスクの着用について
 - *競技時以外、全員にマスクの着用を義務化する。
- (9) 手洗いや会場での消毒体制について
 - *会場入り口やトイレ・洗面所に消毒液を準備する
 - ※うがいは飛沫感染につながるため、学校現場でも禁止しています。
- (10) 熱中症予防の給水と水分補給方法について
 - *水分補給の際は、各人のペットボトルや使い捨て紙コップで行う
(冬季なので、熱中症対策は不要かと思えます。)
- (11) 上記以外の感染対策について
 - *県内及び近県の感染状況を判断し、感染が進んでいる時期は、参加人数が例年より少数となるように募集方法を工夫し、密を避け、感染のリスクを抑える。

第17回倉敷市民スポーツフェスティバル 陸上競技部 競技会 感染症拡大防止対策ガイドライン

実施日：令和5年1月9日 会場：倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム及び周走コース

3つの密（密閉・密集・密接）の徹底的な回避対策について

- (1) 感染者、濃厚接触者が出た場合の対応について
 - *該当団体（チーム）の参加禁止とする
- (2) 選手や控え選手、監督・役員に対する待機場所の指示と感染防止対策
 - *ソーシャルディスタンスを守り、運動中以外はマスクの使用を求める
- (3) 応援者（保護者等）や一般者に対する感染防止対策
 - *一般者の入場を禁止する
 - *密接を避け、大声での会話・応援等を禁止する旨を指導する
 - *応援者についても、各団体で人数および健康状態の把握を求め、異状のない者のみ参加を許可する。
- (4) 試合待機者の施設内での感染防止対策
 - *スタンドや屋外通路等、換気の良い場所で間隔を取って待機し、競技前の選手確認も屋外で行い、密集を避ける
- (5) 会議室、放送室、更衣室など室内での感染防止対策
 - *会議室や放送室が密にならないように注意し、換気や消毒などをこまめに行う
 - *更衣室も更衣のみの使用とし、長時間待機させない。
- (6) 会場（集合場所）までの移動手段での感染防止対策
 - *可能な限り公共交通機関の利用を避け、自家用車等の利用を勧める

その他の感染防止対策

- (7) 施設入場時の体調確認（検温等）について
 - *参加団体及び個人については、チェックシートにより、参加者（選手、指導者、団体関係者）全員の体調確認を行い、異状のなかったこと、参加人数及び代表連絡先を記入した参加同意書を提出させ、団体でまとめて入場させる。
- (8) 移動時や待機時のマスクの着用について
 - *競技時以外、全員にマスクの着用を義務化する。
- (9) 手洗いや会場での消毒体制について
 - *会場入り口やトイレ・洗面所に消毒液を準備する
 - ※うがいは飛沫感染につながるため、学校現場でも禁止しています。
- (10) 熱中症予防の給水と水分補給方法について
 - *水分補給の際は、各人のペットボトルや使い捨て紙コップで行う
(冬季なので、熱中症対策は不要かと思えます。)
- (11) 上記以外の感染対策について
 - *県内及び近県の感染状況を判断し、感染が進んでいる時期は、参加人数が例年より少数となるように募集方法を工夫し、密を避け、感染のリスクを抑える。